

平成29年度第1回 横浜植物防疫所入札等監視委員会（審議概要）

開催日及び場所			平成29年6月27日（火）横浜植物防疫所会議室		
委員			吉武 雅子（大学講師） 菊池哲史（公認会計士） 田鍋 智之（弁護士）		
審議対象期間			平成29年1月1日～平成29年3月31日		
審議対象案件			13件　うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益法人等の案件0件		
抽出案件			7件　うち、1者応札案件2件 (抽出率53.8%)　(抽出率100.0%) 契約の相手方が公益法人等の案件0件 (抽出率0%)		
抽出案件内	工事	一般競争		—	
		指名競争	公募型指名競争	—	
			工事希望型競争	—	
			その他の指名競争	—	
		随意契約		—	
	業務	一般競争		—	
		指名競争	公募型競争	—	
			簡易公募型競争	—	
			その他の指名競争	—	
		随意契約	公募型プロポーザル	—	
			簡易公募型プロポーザル	—	
			標準型プロポーザル	—	
			その他の随意契約	—	
	物品・役務等	一般競争		7件　うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名競争		—	
		随意契約（企画競争・公募）		—	
		随意契約		—	
(特記事項) 特になし					

	意見・質問	回答等
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	1. 植物防疫所行政情報システムのホームページサーバ等へのソフトウェア導入業務一式 ・1者応札の改善策として公示から入札までの期間を延ばすという事だが、具体的にどれくらい延長するのか。 ・メールマガジンとは、どのような情報を配信するのか。	・1週間程度の延長を考えています。 ・公示を出した時に、入札公告の情報配信を登録している者に配信します。
	2. キングB培地外171点の購入 ・入札に参加した2社で、大きく入札金額の差が出ているがなぜか。 ・なぜ、ビール酵母を購入したのか。	・入札者の得意、不得意によって入札金額に差が出ています。 ・供試虫のえさとして使用するためです。
	3. 薬品戸棚外26点交換契約 ・この契約は、もともと第4四半期に発注する予定だったのか。	・本件は物品購入計画に基づいたものです。
	4. 実体顕微鏡システム及びデジタルカメラ外8点の購入 ・なぜ、「薬品戸棚外26点交換契約」と発注を分けて行っているか。	・他の理化学品とまとめて発注すると、一者応札となる可能性が高いので、通常、顕微鏡は他の理化学品の契約とは別に発注しています。
	5. ボールペン外378点の購入 ・参考見積を提出できない理由として、「取り扱っていない商品がある」とのことだが、取り扱っていない商品はどれくらいあったのか。	・10品目です。

	意見・質問	回答等
	6. スライドグラス外519点の購入 ・内訳書でスライドグラスが一番最初に書かれているが、商品としては単価が安い。他に高いものもあるが、どのような順番になっているのか。	・納品先の建制順です。
	7. 植物栽培用ベンチ ・なぜ、札幌の業者が安いのか。	・札幌の業者はステンレス製品等を製造しており、資材を豊富に保有していたため、札幌から沖縄に運送しても地元の業者のものより安くなったと思われます。

委員会による意見具申又は勧告の内容 「これに対し部局長が講じた措置」	特になし
---------------------------------------	------

平成28年度第4四半期(平成29年1月～3月)

入札・契約状況及び抽出件数について

植 物 防 疫 所

契約方式 契約種類	競争入札		随意契約		合 計	
	件 数	内抽出件数	件 数	内抽出件数	件 数	内抽出件数
公 共 工 事 等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
物 品 ・ 役 務 等	12 (2)	7 (2)	1 (0)	0 (0)	13 (2)	7 (2)
合 計	12 (2)	7 (2)	1 (0)	0 (0)	13 (2)	7 (2)

(注) 件数及び内抽出件数の欄の()内の数は1者応札及び公益社団法人又は公益財団法人相手の契約である。

審議対象契約については、以下の方法により各契約より抽出を行いました。

*競争入札については、分担金を除く落札率が95%以上の契約のうち、落札率の高い順から上位7件を抽出対象とします。

*随意契約については、分担金を除く落札率が95%以上の契約のうち、競争性のない随意契約を除く、全てを抽出対象とします。(今回対象0件)

*1者応札の契約及び公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号)第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)を相手方とする契約については、競争性が確保されているかどうか審議する必要があるため、落札率が95%以上の契約で重点的に抽出対象とします。

平成29年度第2回 横浜植物防疫所入札等監視委員会（審議概要）

開催日及び場所			平成29年9月7日（木）横浜植物防疫所会議室			
委員			菊池哲史（公認会計士） 吉武 雅子（大学講師） 田鍋 智之（弁護士）			
審議対象期間			平成29年4月1日～平成29年6月30日			
審議対象案件			168件　うち、1者応札案件27件 契約の相手方が公益法人等の案件1件			
抽出案件			6件　うち、1者応札案件2件 （抽出率3.5%）　（抽出率7.4%） 契約の相手方が公益法人等の案件0件 （抽出率0%）			
抽出案件内	工事	一般競争		—		
		指名競争	公募型指名競争		—	
			工事希望型競争		—	
			その他の指名競争		—	
		随意契約		—		
	業務	一般競争		—		
		指名競争	公募型競争		—	
			簡易公募型競争		—	
			その他の指名競争		—	
		随意契約	公募型プロポーザル		—	
			簡易公募型プロポーザル		—	
			標準型プロポーザル		—	
			その他の随意契約		—	
	物品・役務等	一般競争		3件　うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益法人等の案件0件		
		指名競争		—		
		随意契約（企画競争・公募）		—		
		随意契約		3件　うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件		
（特記事項） 特になし						

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	1. 農林水産省植物防疫所職員用官服製造（単価契約） ・入札者数は、今年度が4者で昨年度が3者だが、1者増えたのか。	・今年度から松村(株)が新たに入札に参加しました。
	2. 平成29年度ガソリンの購入（単価契約） ・応札者数は、前年度は2者前々年度は4者だが、今回1者応札になった理由は何か。	・過去に入札に参加した者から聞き取りしたところ、他社の契約実績などから判断して自社では落札出来ないと判断したので、入札に参加しなかったとのことでした。
	3. 横浜植物防疫所健康診断単価契約 ・特別定期健康診断とは何か。	・業務の関係上、薬品を使用するため一般定期健康診断とは別に実施しています。使用する薬品によって受診項目が異なります。
	4. 電子計算機賃貸借 ・この契約金額は時価に比べて著しく有利な価格となっているのか。	・新規で契約する場合と比べますと、本契約金額は1/5であり、有利な価格となっています。
	5. メドフライコール外5点単価契約 ・この商品を製造販売しているのは、サンケイ化学(株)だけか。	・公募の公告を出していますが当所で把握している者は、サンケイ化学(株)のみです。
	6. 貨物自動車交換契約 ・不落随契は、予定価格を上回っていても契約できるのか。	・予定価格の範囲内でないと契約できません。

委員会による意見具申又は勧告の内容 「これに対し部局長が講じた措置」	特になし
---	-------------

平成29年度第1四半期(平成29年4月～6月)

入札・契約状況及び抽出件数について

植 物 防 疫 所

契約方式 契約種類	競 争 入 札		随 意 契 約		合 計	
	件 数	内抽出件数	件 数	内抽出件数	件 数	内抽出件数
公 共 工 事 等	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
物 品 ・ 役 務 等	117 (28)	3 (2)	49 (0)	3 (0)	166 (28)	6 (2)
合 計	119 (28)	3 (2)	49 (0)	3 (0)	168 (28)	6 (2)

(注) 件数及び内抽出件数の欄の()内の数は1者応札及び公益社団法人又は公益財団法人相手の契約である。

審議対象契約については、以下の方法により各契約より抽出を行いました。

*競争入札については、分担金を除く落札率が95%以上の契約のうち、落札率の高い順から上位13件(今回対象3件)を抽出対象とします。

*随意契約については、分担金を除く落札率が95%以上の契約のうち、競争性のない随意契約を除く、全ての契約(今回対象3件)を抽出対象とします。

*1者応札の契約及び公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号)第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)を相手方とする契約については、競争性が確保されているかどうか審議する必要があるため、落札率が95%以上の契約で重点的に抽出対象とします。

平成29年度第3回 横浜植物防疫所入札等監視委員会（審議概要）

開催日及び場所			平成29年12月14日（木）横浜植物防疫所会議室		
委員			吉武 雅子（大学講師） 田鍋 智之（弁護士） 菊池 哲史（公認会計士）		
審議対象期間			平成29年7月1日～平成29年9月30日		
審議対象案件			22件　うち、1者応札案件7件 契約の相手方が公益法人等の案件0件		
抽出案件			9件　うち、1者応札案件3件 (抽出率40.9%)　(抽出率42.8%) 契約の相手方が公益法人等の案件0件 (抽出率0%)		
抽出案件	工事	一般競争		—	
		指名競争	公募型指名競争	—	
			工事希望型競争	—	
			その他の指名競争	—	
		随意契約		—	
	業務	一般競争		—	
		指名競争	公募型競争	—	
			簡易公募型競争	—	
			その他の指名競争	—	
		随意契約	公募型プロポーザル	—	
			簡易公募型プロポーザル	—	
			標準型プロポーザル	—	
			その他の随意契約	—	
	物品・役務等	一般競争		6件　うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名競争		—	
		随意契約（企画競争・公募）		—	
		随意契約		3件　うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
	(特記事項) 特になし				

	意見・質問	回答等
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	1. 新山下庁舎第1庁舎2階植物培養室プレハブ型低温庫新設工事 ・本工事に係る施工業者は、既存低温庫の設置工事をした業者と同じか。 ・今回の仕様に合った供給可能な業者が1者しかなかったということか。	・異なる業者です。また、仕様も異なったものです。 ・通常規格が1.5坪のところ、今回の規格は1坪のため、供給が可能な業者が少数になったと思われます。
	2. リアルタイムPCRシステム外1件売買契約 ・売買契約は、同一業者2者の入札参加が多く、落札率が高いように見受けられるが、他の業者が入札に参加すれば安くなるのではないか。	・入札公告を植物防疫所のホームページに掲載し、メールマガジンの配信も行っていますが、それでも他の業者が入札に参加しないのが現状です。
	3. 平成29年度有害業務実施場所における環境測定業務 ・有害業務実施場所は試薬等を用いる場所の調査か。	・鉛等を用いる業務があり、人事院規則でこれらに係る環境測定を行うように規定されています。
	4. 薬品・廃液等収集・処分単価契約 ・本業務は、毎年実施する業務か。	・廃液等の処分が多量ではないため、毎年実施していません。廃液等が溜まった時点で発注しています。
	5. 平成29年度植物防疫官高水準英語研修請負業務 ・研修の対象者は海外勤務を予定している者が対象か。	・海外勤務を予定している者を対象としています。対象者は1～2名です。

	意見・質問	回答等
	6. 成田検疫情報提供システムの機能改修及びソフトウェア等更改に伴うデータセンター業務 ・他の業者にはできないものなのか。	・システムのOS更新業務については、現在データセンター業務一式を請け負っている(株)インテックしか行うことができません。
	7. 植物防疫所広報用映像資料「日本の植物検疫」制作業務 ・完成した映像は、何処で見ることができるのか。	・植物防疫所の一般見学者向けで制作したものであり、見学時等に見ることができます。
	8. 実験台外売買契約 ・入札書は合計金額のみの記載であるが、内訳はいつ提出してもらったのか。	・契約時に内訳書を提出してもらっています。
	9. 平成29年度横浜植物防疫所成田支所健康診断業務委託に係る単価契約 ・医療機関は成田空港内に契約者の1カ所しかないのか。	・医療機関は第1ターミナルと第2ターミナルにありますが、第2ターミナルにあるクリニックは健康診断をする施設がありません。

委員会による意見具申又は勧告の内容 「これに対し部局長が講じた措置」	特になし
---------------------------------------	------

平成29年度第2四半期(平成29年7月～9月)

入札・契約状況及び抽出件数について

植 物 防 疫 所

契約方式 契約種類	競 争 入 札		随 意 契 約		合 計	
	件 数	内抽出件数	件 数	内抽出件数	件 数	内抽出件数
公 共 工 事 等	2 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (1)
物 品 ・ 役 務 等	17 (6)	5 (2)	3 (0)	3 (0)	20 (6)	8 (2)
合 計	19 (7)	6 (3)	3 (0)	3 (0)	22 (7)	9 (3)

(注) 件数及び内抽出件数の欄の()内の数は1者応札及び公益社団法人又は公益財団法人相手の契約である。

審議対象契約については、以下の方法により各契約より抽出を行いました。

*競争入札については、分担金を除く落札率が95%以上の契約のうち、落札率の高い順から上位10件(今回対象4件)を抽出及び抽出委員が抽出した契約(2件)の計6件を対象とします。

*随意契約については、分担金を除く落札率が95%以上の契約のうち、競争性のない随意契約を除く、全ての契約(今回対象3件)を抽出対象とします。

*1者応札の契約及び公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号)第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)を相手方とする契約については、競争性が確保されているかどうか審議する必要があるため、落札率が95%以上の契約で重点的に抽出対象とします。

平成29年度第4回 横浜植物防疫所入札等監視委員会（審議概要）

開催日及び場所			平成30年3月15日（木）横浜植物防疫所会議室			
委員			田鍋 智之（弁護士） 田邊 清貴（公認会計士） 吉武 雅子（大学講師）			
審議対象期間			平成29年10月1日～平成29年12月31日			
審議対象案件			27件　うち、1者応札案件5件 契約の相手方が公益法人等の案件0件			
抽出案件			9件　うち、1者応札案件0件 (抽出率33.3%)　(抽出率0.0%) 契約の相手方が公益法人等の案件0件 (抽出率0%)			
抽出 案件 内	工事	一般競争		—		
		指名競争	公募型指名競争		—	
			工事希望型競争		—	
			その他の指名競争		—	
		随意契約		—		
	業務	一般競争		—		
		指名競争	公募型競争		—	
			簡易公募型競争		—	
			その他の指名競争		—	
		随意契約	公募型プロポーザル		—	
			簡易公募型プロポーザル		—	
			標準型プロポーザル		—	
			その他の随意契約		—	
	物品・役務等	一般競争		9件　うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件		
		指名競争		—		
		随意契約（企画競争・公募）		—		
		随意契約		—		
(特記事項) 特になし						

	意見・質問	回答等
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	1. DNAシーケンサー売買契約 ・DNAシーケンサーとはどういった物品か。 ・株式会社池田理化と株式会社江田商会は、他の資料にも入札に参加したと記載があるが、この2者との取引は多いのか。	・植物の塩基配列を読み取る機械です。 ・多いです。
	2. 実体顕微鏡外25点売買契約 ・今回の契約は古くなった顕微鏡を入れ替えるか、それとも新しく購入するのか。 ・何年位使用するのか。 ・計画的に新規に購入しているのか。	・新しく購入する契約です。 ・機器により異なりますが、5年～10年位使用します。 ・計画的に更新しておりますが、修理できるものは修理しています。
	3. ツインミキサー外18件購入及びバイオメディカルフリーザー外2件交換契約 ・納品先は、横浜本所か管内支所か。	・横浜本所です。
	4. アピ20NE外60点の購入 ・28年度契約実績は無しとなっているが、今まで試薬の購入はなかったのか。 ・今回は何故入札にしたのか。	・入札での購入実績はありませんが、今回の量よりも少ない量を随意契約などで購入していました。 ・各担当から購入の要求が多かったため、集約した結果、入札になりました。
	5. 分析機器定期点検業務 ・機器点検とは、どのように行うのか。 ・機器を購入した後に保守契約はしないのか。	・正常に動くかどうか、内部の異常がないか、消耗部分の確認などです。 ・購入初年度は保証期間がありますが、それ以降の保守契約は行っておりません。

	意見・質問	回答等
	6. ウォーターバス外117点の購入 ・これは機器の購入契約か。 ・応札業者は代理店か。	・ほとんど消耗品の購入です。 ・そうです。
	7. 乗用自動車交換契約 ・これは業務用車両か。 ・総合評価の場合、価格以外は何を評価するのか。	・乗用車ですが、業務用として検査にも使用します。 ・性能、燃費などの環境基準です。
	8. イムノストリップキットほか96点 売買契約 ・過去の入札実績は無しとなっているが、過去の試薬購入はどのような契約をしていたのか。 ・金額で入札と随意契約を分けているのか。	・過去はすべて随意契約で契約しておりました。 ・そうです。
	9. 鉛筆外売買契約 ・28年度は入札の実績がないが随意契約か。 ・ボールペン等を購入する際の基準はあるのか。	・そうです。 ・グリーン購入法に合致したものを購入しています。

委員会による意見具申又は勧告の内容 「これに対し部局長が講じた措置」	特になし
---------------------------------------	------

平成29年度第3四半期(平成29年10月～12月)

入札・契約状況及び抽出件数について

植 物 防 疫 所

契約方式 契約種類	競 争 入 札		随 意 契 約		合 計	
	件 数	内抽出件数	件 数	内抽出件数	件 数	内抽出件数
公 共 工 事 等	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)
物 品 ・ 役 務 等	25 (3)	9 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (3)	9 (0)
合 計	27 (5)	9 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (5)	9 (0)

(注) 件数及び内抽出件数の欄の()内の数は1者応札及び公益社団法人又は公益財団法人相手の契約である。

審議対象契約については、以下の方法により各契約より抽出を行いました。

*競争入札については、分担金を除く落札率が95%以上の契約のうち、落札率の高い順から上位10件(今回対象9件)を抽出対象とします。

*随意契約については、分担金を除く落札率が95%以上の契約のうち、競争性のない随意契約を除く、全ての契約(今回対象0件)を抽出対象とします。

*1者応札の契約及び公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号)第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)を相手方とする契約については、競争性が確保されているかどうか審議する必要があるため、落札率が95%以上の契約で重点的に抽出対象とします。